

施工要領

特に注意が必要な商品の施工要領です。これらは、一般ビニル壁紙に比べ施工難易度が高く、施工費が割増になる場合があります。あらかじめご了承ください。一般的な壁紙の施工方法や、壁紙全般に共通する基本的な注意点は「取扱上のご注意」をご参照ください。

消臭+汚れ防止 LL-7452~7515 LL-7852~7891

壁紙表面に、ポリプロピレン製の汚れ防止フィルムをラミネートした商品です。一般ビニル壁紙に比べやや硬くカールしやすい傾向があり、寒冷時には出入隅部の収まりが悪くなることがあります。あらかじめご了承ください。

●低温時は室内を暖めて

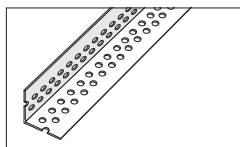
5℃以下の環境では糊の接着力が弱くなり、フクレや施工不良の原因となります。また、壁紙自体も硬くなりますので、施工効率が下がります。できるだけ室内を暖めて、壁紙を馴染ませ柔らかくしてから施工してください。

●モルタル下地にはシーラー処理を

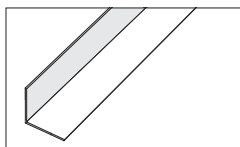
アクによる変色やフクレを防ぐため、必ずシーラー処理を行ってください。特に低温時にはフクレがおきやすくなりますのでご注意ください。

●下地コーナー材は穴あきタイプを

下地コーナー材は、穴あきタイプが有効です。穴あきタイプ以外では接着剤が乾燥せず、壁紙が浮いたり、カビ発生の原因となる場合があります。ただし、穴あきタイプをご使用の場合でも使用環境や施工状況によっては、壁紙の浮きやカビが発生する場合があります。あらかじめご了承ください。



穴あきコーナー材



一般的なコーナー材

●張り付け時のカール癖

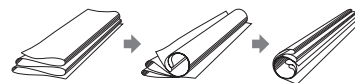
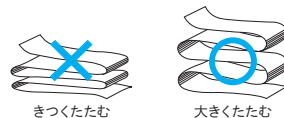
一般ビニル壁紙に比べやや硬くカール癖がつきやすい傾向があります。特に巻き芯に近い部分や寒冷時には、材料を逆巻きにするなどカール癖をとってから施工してください。収まりが悪い場合は、ジョイント部や出入隅部にエチレン酢ビ系ボンドを原液で捨て糊するなどの処置を施してください。

●接着剤とオープンタイム

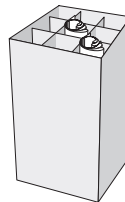
接着剤は、濃い目(6~7割希釈)のものにエチレン酢ビ系ボンドを10~20%程度混合してください。接着剤塗布後はうませ時間を20~30分程度とってください。寒冷時には後伸びによるフクレを防ぐため少し長めにとってください。

●糊付け後のたたみ方、養生時のポイント

接着剤塗布後は大きいたたみ、上積みをしてください。フィルムが折れてたたみジワが発生する場合があります。



たたみジワに注意し、重ね置きを可能にするため、一度たたんだものを丸める「丸め置き」をおすすめします。



専用ボックスは、折れジワ防止だけでなく、運搬にも有効です。

●なで付け注意

特に、モルタル下地ではプラスチック製のヘラを使用し、ていねいに繰り返しエア抜きを行ってください。

●糊の拭き残し

施工後は接着剤の拭き残しがないよう、きれいに拭き取ってください。拭き取りが不十分な場合、変色の原因になることがあります。なお、拭き取る際は、きれいな水に頻繁に替えながら濡れスポンジなどでていねいに拭き取り、更にきれいなタオルなどで拭き取ってください。

スーパー強化+汚れ防止 LL-7892~7949

強化配合の塩ビ樹脂層に、汚れ防止エパールフィルムをラミネートした商品です。エアが抜けにくく、特に低温時にはフクレが生じやすくなりますので注意が必要です。あらかじめご了承ください。特に硬い品質が特徴の壁紙ですので、「消臭+汚れ防止壁紙」の施工要領に加えて以下の点にもご注意ください。

●モルタル下地にはご注意ください

基本的にモルタル下地には向きませんが、施工する際には必ずシーラー処理を行ってください。フクレ回避に有効です。

●冬季・寒冷地では室温15℃に暖めて

寒い時期には、壁紙が余計硬くなり施工しにくくなります。室温を15℃以上に上げて施工してください。

●接着剤とオープンタイム

接着剤は、接着強度が高く濃いものを少なめに塗布できる原液タイプがおすすめです。接着剤塗布後、20~30分程度うませ時間とってください。寒冷時には後伸びによるフクレを防ぐため少し長めにとってください。

●出隅・入隅は、ボンド捨て糊がおすすめ

出隅・入隅など角の出にくい場合は、下地側にエチレン酢ビ系のボンドを捨て糊するなどの処置を行ってください。また、出隅の角をしっかりと出すためには、角部分の壁紙表面からきれいな布で、角をしっかりと押さえながら擦ってください。

●なで付けは、プラスチック製のヘラがおすすめ

硬い壁紙のため、柔らかい撫で刷毛では圧着やエア抜きが困難です。プラスチック製のヘラを使って、ていねいに繰り返しエア抜きを行ってください。